

上島町

キャンパスベンチャーグランプリ四国で
弓削商船高等専門学校が特別賞

2月7日、高松市において第3回キャンパスベンチャーグランプリ四国の表彰式が行われ、弓削商船高等専門学校の4組7名が入賞しました。このグランプリは四国の大学生・高専生を対象に、新規性あふれる事業や商品を募り、優れたビジネスプランを表彰するもので、4組の入賞は高専の中で一番多い受賞でした。

■特別賞（日刊工業新聞社賞）

「インターネット対応プログラミング学習システム」
情報工学科5年：富田宣也、片岡裕雅、郷原麻衣子
電子機械工学科5年：箱崎正洋

■特別賞（四国産業人クラブ賞）

「歯の接触音を用いた学習機能を有するハンズフリー型 マン・マシンインターフェース」

生産システム工学
専攻1年 森本猛

■努力賞

「人工知能を用いたエステティックシステムの開発」
情報工学科 5年 矢野沙季
「My ドレッシング自動販売機の企画」
電子機械工学科5年 西岡雄大



特別賞を受賞した5名と西垣校長



2月4日

～3月3日

eat「い～テレ」が上島町を取材！

2月15日、ふるさとCM大賞E H I M Eでの金賞受賞を受けて、eat 愛媛朝日テレビの放送番組「い～テレ」が面白かった町として上島町へ取材に訪れました。

当日は、あいにくの雨になりましたが、上島町の特産品である生名島の日輪養魚で車海老、岩城島の畑で柑橘類などを紹介しながら、CM大賞に出演していた弓削島の村瀬忍さんを探し当てるというストーリーで行われ、大変楽しいロケが繰り広げられました。

農園で村瀬さん発見



岩城島で柑橘をPR



生名島で車海老のPR

未来に向かって精一杯歩んでいきます

伯方高校岩城分校「卒業証書授与式」

3月1日、伯方高校岩城分校において、平成17年度卒業証書授与式が挙行政され、6名が卒業されました。

卒業証書の授与に続き、「分校という家族の中で」という作文を取り上げた校長先生の式辞、上村町長の祝辞が行われ、「一人一人の才能を信じて限りなく挑戦し続けてください」といったエールが送られました。そして卒業生代表の岡野麻紀さんによる答辞が行われ、「岩城分校で学べたことを誇りに思い、未来に向かって精一杯歩んでいきたいと思っています。」と力強い言葉が述べられました。

最後に、一人一人の卒業への思いを込めた短歌が読み上げられ、温かい拍手の中、旅立ちました。



最後の校歌斉唱



温かい拍手に包まれて退場



岡野麻紀さんによる答辞

ふるさとへの思いを胸に新たな旅立ち

弓削高等学校「卒業証書授与式」

3月1日、弓削高等学校において、平成17年度卒業証書授与式が挙行政され、28名が卒業されました。

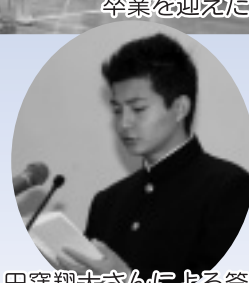
一人一人、卒業証書を受け取り、在校生代表による心温まる送辞、卒業生代表の田窪翔太さんによる青春の思い出がいっぱいつまった答辞が述べられると、母校・仲間との別れに感極まって涙する生徒もいました。最後に力強く校歌を歌い上げ、在校生による歌とともに母校を後にしました。



卒業を迎えた28名



涙する女子学生



田窪翔太さんによる答辞

魚島地区

成長に、可能性に、拍手かっさい！

2月14日、大勢の観客が集まり、魚島保育所の発表会が催されました。園児4人が舞台狭しと、練習の成果をそれぞれ個性豊かに演じました。寸劇『あかずきん』では、役になりきった完璧なセリフ回しで見る者をうならせました。また、跳び箱やマット運動も披露され、この一年間のたくましい成長の証を見せました。会場を埋めた家族のなかには、涙をぬぐう光景も見られるなど、ホッと楽しいひとときを過ごしました。



地域の宝を守る「人権教育懇談会」

2月27日、教職員、PTA関係者、保育所職員ほか一般の皆さんを交えて、人権教育懇談会が行われました。「子どもの未来のために」をテーマに掲げ、愛媛県人権教育課の須之内靖彦先生に講演をしていただきました。

最近、子どもが犠牲となる事件についても触れられ、子どもの気持ちや立場を十分に理解し、家庭と地域が両輪となって、見守り育てていくことの大切さを改めて考え直しました。



カカオが香るお菓子づくり教室

2月4日、東喜美子さんを講師に迎えて、バレンタインデーに向けたチョコレート菓子づくりの教室が行われました。途中、材料を間違えそうになるハプニングもありましたが、出来上がりは上々でした。参加した子どもたちも一生懸命作ったお菓子は、格別おいしかったようです。



お母さんたちとお菓子作りに熱中する子供たち

笑顔でスキンシップ 「親子ふれあい遊び」

2月18日、今年度3回目の子育て講座が開発センターで行われました。毎木保育士の指導で、親子のコミュニケーションを図ろうと、音楽に合わせて体操をしたり、足を組んだり、手を合わせたり…。日頃運動不足の(?)お母さんたちが悪戦苦闘する場面もありましたが、笑顔が絶えない楽しい1日となりました。



お母さんと体操を楽しむ子供たち

ふるさと学習で「海苔見学」

2月13日、弓削小学校の3年生が、ふるさとの特産品を学ぼうと弓削海苔の収穫と加工場を見学しました。

まず、弓削島の沖まで船で向かい、海苔の収穫作業を見学し、収穫されたばかりの生海苔の試食もさせてもらいました。続いて、加工場を訪れ、海苔が出来上がるまでの工程に興味深く見学しました。見学後は漁協職員へ「一日にどれくらい収穫できるのですか」などの質問を行い、熱心に勉強していました。

獲れたての生海苔をいただきました



メモをとりながら熱心に勉強する児童



出来立ての板海苔をいただきました

弓削公民館で「陶芸教室」

2月21日から3月28日までの毎週火曜日、弓削中央公民館生涯学習講座で陶芸教室が開催されました。

講師に、弓削地区の陶芸家である松崎哲男さんを招き、19人が参加しました。参加者は自分や家族のために良い作品を作ろうと松崎さんの手ほどきを受けながら真剣に取り組んでいました。作品はお茶碗やお皿など様々で、初心者とは思えないような手作りの温かみのある作品が出来上がっていました。



▲松崎さんの指導を仰ぐ参加者



作品に葉っぱの模様をつける参加者

弓削地区

B&Gゆげ海洋クラブ「スキーツアー」

2月11日、B & G ゆげ海洋クラブは冬の活動として、広島県の猫山スキー場までスキーツアーへ行きました。

今年はクラブ員と保護者合わせて総勢45人が参加しました。毎年参加している子は華麗な滑りで、また初参加の子は指導者に教えてもらいながら、普段味わうことのできないまっ白なゲレンデを楽しんでいました。



▲指導してもらう子供たち



島っ子だってスキーはお手のもの

育児教室でおやつづくり

2月16日、保健センターで育児教室が開催され、総勢53名の親子が集まりました。

この日の教室はホットケーキ作りで、親子で生地を混ぜ、ホットプレートで焼いていきました。中にはカボチャで作ったあんが挟まれ、大小さまざまなホットケーキが出来上がりました。カボチャ入りのホットケーキは子供たちにもお母さんにも好評で、みんなお腹いっぱい食べていました。



▲生地を混ぜる子供たち



ホットケーキをほお張る子供

魚は美味しいけど・・・料理は大変！ 弓削中学校で魚食普及教室

3月3日、弓削中学校2年生を対象に、お魚ママさんを講師に招いての魚食普及教室が開催されました。

これは、子供たちに身体に良い魚をいっぱい食べてもらおうと、毎年開催されているものです。子供たちは、お魚ママさんに教えてもらいながら、慣れない手つきでサバやアジをさばき、数種類の魚料理を完成させ、美味しく試食を楽しみました。



サバのさばき方を教わる生徒



試食を楽しむ生徒

上手におはし持てるかな？

2月22日、岩城保育所において、すみれ・ひまわりさんを対象に保健センター管理栄養士による食育講座が行われました。

今月は、おはしの練習や食事のマナーについて行いました。まず、手の準備運動！そして、正しくおはしを持ってみましょう。意識しすぎて力が入っている子供たちもいました。

みんなきちんとおはしを使って上手にスポンジ運びできたかな？



岩城地区

第1回優勝は「マドンナ」
岩城レクリエーションバレー杯争奪大会

2月19日、岩城長江体育館及び開発センターにおいて、レクリエーションバレー大会が開催されました。

総勢17チームの参加があり、チェーンリーグによる予選を行い、8チームが決勝トーナメントに進出しました。

このレクリエーションバレーは20代の若者から70代の熟年まで、幅広く参加できるスポーツとして、岩城では大変親しまれています。今年から実行委員会という有志による開催となりましたが、接戦が多い大変盛り上がる大会となりました。栄えある第1回大会の優勝は「マドンナ」チーム、準優勝は「22」チーム、第3位は「ラビゴン」チームとなり、新たな歴史が作られました。

今後とも長く続けていく大会にできるよう、参加者・スタッフのご協力をお願いします。



生名地区

生名保育所で「ひな祭り餅つき大会」

3月3日のひな祭り、生名保育所において商工会青年部の人たちと保育所園児で餅つきをしました。園児たちは重い杵を持ち、一生懸命青年部のお手伝いをしました。園児たちは、「つき立てのお餅はおいしいね」と美味しくお餅を食べていました。

